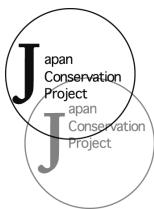


陸
前
高
田
学
校



平成 26 年度
文化財危機管理セミナー
応募要項

※ 東日本大震災被災地在住文化財保存従事者対象



主催：特定非営利活動法人 文化財保存支援機構

共催：独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館

陸前高田市教育委員会／陸前高田市立博物館／岩手県立博物館

後援：公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団／文化遺産国際協力コンソーシアム

一般社団法人 文化財保存修復学会／日本文化財科学会

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟（すべて申請中）

文化財危機管理セミナー「陸前高田学校」開催趣旨

今年で3年目となる「陸前高田学校」は、東日本大震災の被災地において開講し、災害時における文化財の救援活動や応急処置など、実践的な危機管理に重点を置いて学んでいきます。

被災地に蓄積された技術と知識を学ぶと共に、水損資料の保存処置の現場を体験し、保存従事者同士の交流を図ります。

- 主 催：特定非営利活動法人 文化財保存支援機構
- 共 催：独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館
陸前高田市教育委員会 / 陸前高田市立博物館 / 岩手県立博物館
- 後 援：公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団 / 文化遺産国際協力コンソーシアム
一般社団法人文化財保存修復学会 / 日本文化財科学
公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟（すべて申請中）
- 監 修：神庭信幸（東京国立博物館学芸研究部保存修復課長）
三輪嘉六（NPO法人 文化財保存支援機構理事長・九州国立博物館長）
西浦忠輝（NPO法人 文化財保存支援機構理事・国士館大学教授）
増澤文武（NPO法人 文化財保存支援機構理事・（公財）元興寺文化財研究所名誉研究員）
増田勝彦（NPO法人 文化財保存支援機構理事・昭和女子大学光葉博物館顧問）
- 定 員：10名
- 参加資格：東日本大震災被災地（岩手県/宮城県/福島県/茨城県/栃木県）在住在勤の文化財保存従事者
※希望者多数の場合は先着順です
- 受講時間数：約100時間（現場実習、実技中心・講義・見学等）
- 平成26年度実施期間：
7月28日（月）,29日（火）,30日（水）,31日（木）,8月1日（金）,2日（土）,3日（日）
全7日間
- 時 間：9:30～12:30 13:30～16:30（プログラムに応じます）
- 場 所：陸前高田市立博物館（岩手県陸前高田市矢作町字二田野55）
岩手県立博物館〈見学〉（岩手県盛岡市上田松屋敷34）
- 参加費：無 料
- 応募期間：**平成26年7月15日（火）まで**
- 応募方法：専用の申し込み用紙に必要事項（①氏名（ふりがな）、②年齢、③性別、④連絡先の住所/電話番号/FAX番号/メールアドレス、⑤所属機関/部署（学生の場合は、学校名、専攻コース名など）、⑥専門、⑦略歴、⑧宿泊施設手配の要/不要（宮城県気仙沼市内を予定））を記入の上、NPO法人文化財保存支援機構事務局あて、FAX、郵送あるいはe-mail添付にてお送り下さい。

※NPO JCPの公式HP、ブログから応募要項、申込書のダウンロードが可能です

平成 26 年度「陸前高田学校」文化財危機管理セミナーカリキュラム（予定）

レベル 2・A コース カリキュラム（全 7 日間 42h）	
基礎講義・実習（12h）	
7/28（月）	・開会式、特別講義（3h） ・カビ、バクテリアについて（3）（3h）
7/29（火）	・第一次保管環境の管理（3h） ・紙資料（文書・教科書）の安定化処理（3h）
実習・ワークショップ（24h）	
7/30（水）	・紙資料（文書・教科書）の安定化処理（6h）
7/31（木）	・民俗資料の安定化処理（6h）
8/1（金）	・ワークショップ～ 岩手県下における被災文化財の安定化処理～（5h） ・館内見学（1h） ・懇親会
8/2（土）	・紙資料（書画）の安定化処理（3h） ・ディスカッション・総括（3h）
8/3（日）	岩手県立博物館 ・仮設陸前高田市被災文化財等保存修復施設見学（6h）

※ カリキュラムは都合により変更となることがあります。

この事業は、（公財）文化財保護・芸術研究助成財団の助成で行われます。

問合先：特定非営利活動法人 文化財保存支援機構事務局
〒110-0008 台東区池之端 4-14-8 ビューハイツ池之端 102 号
TEL : 03-3821-3264 FAX : 03-3821-3265
E-Mail : jimukyoku@jcpnpo.org
URL : www.jcpnpo.org
担当：八木／松本